

アクティヴ・ラーニングの 目指すもの —「深い学び」と「感性を磨く」—

2017 **11/3** 金・祝

10:00～16:30 (予定)
[受付開始・開場 9:30]

講座の概要

本講座シリーズ「臨床と哲学のあいだ」はこれまで3回にわたって、人間科学の本質をめぐって議論してきました。今回は第4弾として「教育の本質」について考えていきます。本来教育は何を目指すか、常に議論されてきたテーマですが、昨今では「アクティヴ・ラーニング」が盛んに取り沙汰されています。その内実をめぐっては主体的・能動的な学びなど言われますが、いまだに高校・大学では専門知識を教授することが中心であること変わらないように見えます。そこで今回、「アクティヴ・ラーニング」について長い間取り組んでおられる藤井千春氏を講師としてお招きします。併せて最近「感性教育」に積極的に取り組んでいる本学の小林隆児氏(人間科学部)とともに、今「アクティヴ・ラーニング」で何が問われているのか、その本質をめぐって皆さんとともに考えてみたいと思います。なお、指定討論者として、哲学者西研氏と臨床心理士佐川真太郎氏にもご登壇いただきます。

会場

ステーションコンファレンス東京
サピアホール (サピアタワー5階 501室)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12

受講料

3,000円(事前振込)
※振込方法についてはお申込み受付後ご案内いたします。

受講対象者

参加資格は問いません。どなたでも参加できます

主催

学校法人 西南学院

講師

藤井 千春 (教育哲学者、早稲田大学教授)
小林 隆児 (精神科医、西南学院大学教授)

指定討論者

西 研 (哲学者、東京医科大学教授)
佐川 真太郎 [司会兼任]
(臨床心理士、東洋大学朝霞キャンパス学生相談室)

スケジュール

10:00-12:00

講演1 藤井 千春
子どもが「深い学び」を遂げるために
—「この子」の意味世界の生成・発展を読む—

13:00-14:30

講演2 小林 隆児 臨床家の感性を磨く

14:45-16:30

指定討論と総合討論 西 研 / 佐川 真太郎 他

※講座の運営に支障をきたす行為をされた場合は、ご退席いただく場合がございます。
※受講申し込みについては、裏面をご覧ください。

問い合わせ・
申し込み先

西南学院東京オフィス (〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階)

TEL 03-5220-3737 FAX 03-5220-3838 E-mail tokyo@seinan-gu.ac.jp URL http://www.seinan-gu.ac.jp/tokyo_office/to_outline.html

開室時間 平日 9:30～18:30 / 土曜日 9:30～17:00 (日・祝日、学院の定める休日は閉室。9月～2月の土曜日は閉室)

『西南学院講座 in Tokyo』 受講申込書

- [記入上のご注意] ①住所・氏名(フリガナ)・電話番号は、必ずご記入ください。
 ②年齢・職業等については、受講者層を把握し、講座の運営に役立てるために使わせていただきますので、お差し支えない範囲でご記入ください。

受講講座名	アクティヴ・ラーニングの目指すものー「深い学び」と「感性を磨く」ー		
住所	〒		
フリガナ			
氏名			
電話番号			
年齢	才	職	業
今回の講座をどのような機会や媒体で知りになりましたか?			

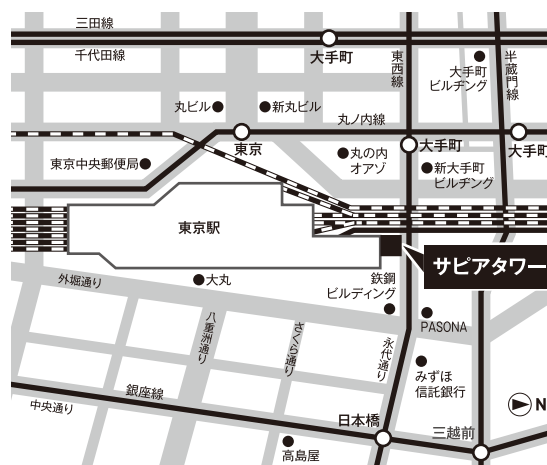
講師	指定討論者
<p>藤井 千春(ふじい ちはる)</p> <p>教育哲学者、博士(教育学)、教育哲学会・日本デューイ学会理事。筑波大学大学院博士課程教育学研究科単位取得退学。大阪府立大学総合科学部助手、茨城大学教育学部助教授などを経て現職。ジョン・デューイの経験主義哲学を研究し、子どもが学ぶこと・成長することの論理、および教師の指導・支援の在り方について、全国各地の小学校の校内研究に参加しつつ具体的な事例を通じて研究している。代表的な著書に『ジョン・デューイの経験主義哲学における思考論』(早稲田大学出版部)、『問題解決学習の授業原理』『アクティヴ・ラーニング授業実践の原理』(以上、明治図書)など、翻訳に『ジョン・デューイー現代を問い直すー』(R、ボイスヴァート著、晃洋書房)などがある。</p> <p>小林 隆児(こばやし りゅうじ)</p> <p>精神科医、医学博士、日本乳幼児医学・心理学会理事。九州大学医学部卒業。福岡大学医学部精神医学教室入局後、大分大学、東海大学、大正大学を経て、現職。乳幼児体験がこころの臨床に及ぼす影響を探究しつつ、従来の発達障害を初めとする精神疾患理解の脱構築に取り組んでいる。代表的な著書に『「関係」からみる乳幼児期の自閉症スペクトラム』『自閉症スペクトラムの症状を「関係」から読み解く』(以上、ミネルヴァ書房)、『甘えたくても甘えられない』(河出書房新社)、『あまのじゃくと精神療法』(弘文堂)、『発達障害の精神療法』(創元社)、『人間科学におけるエヴィデンスとは何か』(西研との共編、新曜社)などがある。現在『感性を磨くー臨床家のために』執筆中、今秋には刊行予定。</p>	<p>西 研(にし けん)</p> <p>哲学者、東京医科大学教授。教育出版小学校国語教科書『広がる言葉』編集委員。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、社会哲学専攻。京都精華大学助教授、和光大学教授を経て現職。哲学を、一人ひとりが自分と世界との関係を深く考えるための技術として再生することを目指し、なつかしさ・自由・正義などをテーマとしたワークショップを、大学、カルチャーセンター、司法研修所、企業研修などで行ってきた。著書に『ヘーゲル・大人のなりかた』(NHKブックス)、『哲学的思考ーフッサール現象学の核心』(ちくま学芸文庫)など、最近の共著に『人間科学におけるエヴィデンスとは何か』(小林隆児との共編、新曜社)などがある。</p> <p>佐川 眞太郎(さがわ しんたろう)</p> <p>臨床心理士。大正大学大学院人間学研究所臨床心理学専攻修了。公立教育相談機関教育相談員、公立中学校・高校スクールカウンセラー等を経て、現在、東洋大学朝霞キャンパス学生相談室学生相談員。関係発達の見点から臨床心理実践・研究に取り組んでいる。著書・論文に『オープンダイアログ』の「対話」に焦点をあてて(佐藤幹夫編『オープンダイアログ』は本当に使えるのか)分担執筆)、『言(観)舎』、『子育ての当事者になるということー『個人的な体験』をふりかえって』(そだちの科学28号、日本評論社)などがある。</p>

お申し込みは、この用紙に記入のうえ、FAX または郵送にてお送りください。この用紙以外の任意の用紙またはハガキ、メールでも受け付けています。その場合は、必ず件名に『西南学院講座(アクティヴ・ラーニング)』と記入してください。(申込受付確認の返信はいたしませんので、ご了承ください。)

お申し込みは先着順に受け付け、**7月下旬頃から**順次、受講案内・受講料振込用紙を送付させていただきます。

西南学院東京オフィス
 〒100-0005
 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サピアタワー 10階
 TEL.03-5220-3737 FAX.03-5220-3838
 メールアドレス tokyo@seinan-gu.ac.jp

開室時間 [平日] 9:30~18:30 [土曜日] 9:30~17:00
 ※日、祝日、学院の定める休日は閉室。9月~2月の土曜日は閉室。



JR東京駅から 新幹線専用改札口(日本橋口)より 徒歩約1分
 八重洲北口改札口より 徒歩約3分
 地下鉄東西線大手町駅から B7出口直結(サピアタワー地下入口)

[個人情報のお取り扱いについて]
 受講申込時にお預かりした上記の個人情報は、当講座の実施・運営ならびに次回の講座や本学院主催の講演会等のご案内に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。当講座管理・運営は、株式会社WAVEがサポートしています。(〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9 KEC銀座ビル7階)